



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 森六株式会社

コード番号 4249 URL <https://www.moriroku.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 最高経営責任者 （氏名）黒瀬 直樹

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経理・財務、IR担当 経 理財務部長 （氏名）小岩井 無我 TEL 03 (3403) 6102

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	33,821	△6.7	1,076	△23.6	906	△42.4	529	△65.8
2025年3月期第1四半期	36,260	11.5	1,408	713.9	1,573	170.7	1,549	274.0

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △455百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 3,515百万円（22.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	36.66	—
2025年3月期第1四半期	105.34	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	111,213	62,591	55.3
2025年3月期	124,634	64,911	51.1

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 61,449百万円 2025年3月期 63,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	52.50	—	52.50	105.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		57.50	—	57.50	115.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	64,000	△10.7	900	△44.7	850	51.1	522	159.3	36.02
通期	137,000	△6.3	5,000	20.9	4,900	122.3	3,200	—	220.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Morioku Chemicals India Private Limited

除外 1社 (社名) Morioku Technology De Mexico S.A. DE C.V.

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	14,410,000株	2025年3月期	14,860,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	108,019株	2025年3月期	199,819株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	14,446,417株	2025年3月期1Q	14,708,607株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2025年3月期 136,300株、2026年3月期1Q 103,200株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年3月期1Q 213,600株、2026年3月期1Q 127,734株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間においては、米国の追加関税の影響が懸念される中、中国で日系自動車メーカーの販売不振が継続し、アジアでもインドやインドネシアで自動車販売が落ち込むなど、当社グループを取り巻く事業環境は依然として不透明な状況が続きました。為替は前年同期に比べて円高となり、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格も下落基調で推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は、円高の影響に加えて、中国における主要顧客の自動車の減産や化学品販売の減少により、33,821百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

営業利益は1,076百万円（同23.6%減）となりました。メキシコの子会社 Moriroku Technology De Mexico S.A. DE C.V.（以下、「MTDM」）の譲渡損失について前期に引当金を計上済みであったこと、および、前期に中国等で減損損失を計上したことによる減価償却費の減少などの要因はあったものの、主に売上高減少の影響により減益となりました。

経常利益は前年同期に計上した為替差益が為替差損に転じたことにより、906百万円（同42.4%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した固定資産売却益の反動減により529百万円（同65.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社および当社の国内完全子会社の組織再編に伴い、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直しております。これにより、報告セグメントに配分していた一部の本社費用について全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法に基づき組み替えて比較しております。

①樹脂加工製品事業

日本では、主要顧客の減産により四輪事業は伸び悩みましたが、熊本で展開している二輪事業が堅調に推移しました。

北米では、物価高騰の影響による調達コストの増加はあったものの、MTDM売却により損失計上がなくなったことや、価格転嫁とコスト削減の進捗により利益が改善しました。

中国では、前期に減損損失を計上したことにより減価償却費は減少しましたが、主要顧客の減産の影響が大きく、減収減益となりました。

アジアでは、インドやインドネシアで減産となりましたが、タイでの増産により、前年同期並みを維持しました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,715百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は1,235百万円（同7.3%増）となりました。

②ケミカル事業

中国では日系自動車メーカーの販売不振が継続し、アジアでも販売が落ち込んだ結果、自動車向け原材料や塗料原料の販売が減少しましたが、国内の二輪向けは堅調に推移しました。また、生成AI市場の拡大に伴い、電機・電子分野も堅調に推移しました。

一方、ライフサイエンス分野は、欧州向けの透明樹脂の販売が低迷しました。ものづくり分野は、顧客の生産調整の影響により医療向けの高機能フィルムの販売が減少しました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,106百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は281百万円（同59.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は63,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,678百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が4,902百万円、受取手形及び売掛金が4,555百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は48,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,741百万円減少しました。これは主に、長期貸付金が1,446百万円増加した一方、建物及び構築物が3,026百万円、機械装置及び運搬具が1,604百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は111,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,420百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は42,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,624百万円減少しました。これは主に、関係会社整理損失引当金が6,036百万円、支払手形及び買掛金が2,629百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は6,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円減少しました。これは主に、長期借入金が303百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は48,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,100百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は62,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,319百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1,443百万円、為替換算調整勘定が961百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,973	15,070
受取手形及び売掛金	32,799	28,243
電子記録債権	1,669	1,768
商品及び製品	5,787	5,297
仕掛品	4,099	4,436
原材料及び貯蔵品	4,380	3,793
その他	4,094	4,516
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	72,793	63,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,324	14,297
機械装置及び運搬具（純額）	10,283	8,678
工具、器具及び備品（純額）	4,203	4,123
土地	5,208	4,881
リース資産（純額）	451	500
建設仮勘定	2,657	3,157
有形固定資産合計	40,128	35,638
無形固定資産	1,460	1,443
投資その他の資産		
投資有価証券	7,553	7,485
長期貸付金	91	1,537
退職給付に係る資産	1,358	1,355
繰延税金資産	592	590
その他	658	658
貸倒引当金	△2	△611
投資その他の資産合計	10,252	11,016
固定資産合計	51,840	48,099
資産合計	124,634	111,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,914	16,285
電子記録債務	1,336	1,440
短期借入金	15,675	14,831
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	797	300
リース債務	361	343
未払法人税等	666	572
関係会社整理損失引当金	6,626	589
その他	8,257	7,647
流動負債合計	52,805	42,181
固定負債		
社債	859	774
長期借入金	2,314	2,010
リース債務	842	841
繰延税金負債	1,728	1,687
債務保証損失引当金	95	47
退職給付に係る負債	512	529
資産除去債務	173	173
その他	391	376
固定負債合計	6,917	6,441
負債合計	59,723	48,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	1,398	1,398
利益剰余金	48,546	47,103
自己株式	△518	△297
株主資本合計	51,067	49,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,407	2,406
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	9,237	8,275
退職給付に係る調整累計額	551	535
在外子会社のその他退職後給付調整額	399	386
その他の包括利益累計額合計	12,595	11,605
非支配株主持分	1,248	1,141
純資産合計	64,911	62,591
負債純資産合計	124,634	111,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	36,260	33,821
売上原価	30,153	27,947
売上総利益	6,106	5,873
販売費及び一般管理費	4,698	4,797
営業利益	1,408	1,076
営業外収益		
受取利息	42	37
受取配当金	191	100
為替差益	152	—
持分法による投資利益	3	—
その他	38	37
営業外収益合計	429	175
営業外費用		
支払利息	240	175
為替差損	—	131
持分法による投資損失	—	15
その他	24	22
営業外費用合計	265	345
経常利益	1,573	906
特別利益		
固定資産売却益	829	13
補助金収入	15	37
債務保証損失引当金戻入額	26	47
特別利益合計	871	98
特別損失		
固定資産売却損	19	20
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	20	22
税金等調整前四半期純利益	2,423	981
法人税等	839	446
四半期純利益	1,584	534
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,549	529

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,584	534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	△0
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	2,060	△967
退職給付に係る調整額	△10	△16
在外子会社のその他退職後給付調整額	21	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	4	5
その他の包括利益合計	1,930	△989
四半期包括利益	3,515	△455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,478	△460
非支配株主に係る四半期包括利益	37	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,356	6,904	36,260	—	36,260
セグメント間の内部売上高または振替高	192	325	518	△518	—
計	29,549	7,229	36,778	△518	36,260
セグメント利益	1,151	703	1,854	△445	1,408

(注) 1. セグメント利益の調整額△445百万円には、セグメント間取引消去3百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の本社費用△449百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,715	6,106	33,821	—	33,821
セグメント間の内部売上高または振替高	144	217	361	△361	—
計	27,859	6,323	34,182	△361	33,821
セグメント利益	1,235	281	1,517	△441	1,076

(注) 1. セグメント利益の調整額△441百万円には、セグメント間取引消去27百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の本社費用△469百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社および当社の国内完全子会社の組織再編に伴い、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直しております。これにより、報告セグメントに配分していた一部の本社費用について全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年3月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式391,300株の取得を行いました。また、当社は2025年6月6日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月30日付で、自己株式450,000株の消却を実施しました。これらの自己株式の取得および消却等の結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が1,443百万円、自己株式が220百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金が47,103百万円、自己株式が297百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,027百万円	1,523百万円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

持分法を適用していない非連結子会社であった Morioku Chemicals India Private Limited は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった Morioku Technology De Mexico S.A. DE C.V. の全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。